

投資計画 概要



第8次増資 2025年

今こそエイズ、結核、マラリアとの闘いにおける正念場です。グローバルファンドの第8次増資では、180億米ドルが必要です。180億米ドルを調達することにより、2300万の命を救い、三疾患合わせた死亡率を64%減少させ、より公平で健康かつ安全な世界を築くことができます。

効果を大規模に実現

グローバルファンドのパートナーシップは大きな効果をもたらしてきました。2002年以来、6500万の命を救い、エイズ、結核、マラリアを合わせた死亡率を63%減少させました。グローバルファンドが支援する国々は目覚ましい進歩を遂げ、国を挙げて感染症に力強く対応できるようになりました。こうした成果は人々の健康を増進させただけでなく、人々の暮らしや世界の健康安全保障も改善してきました。しかし、紛争、経済的な困難、気候変動などの危機が重なり、これまでに獲得した成果が脅かされています。こうした問題に直面しながらも、私たちは成果を上げ、世界で最も脆弱な環境下で活動し、公衆衛生に対する新たな脅威に迅速に対応することに引き続き注力しています。2002年以来、100以上の国に669億米ドルを投資し、命を救うツールやリソースを最も必要とする人々に提供しています。

効率性と持続可能性の推進

グローバルファンドは、医療製品の価格の引き下げに注力するとともに、実績ある対策への投資を通じて進展を加速させながら、できるだけ効率良く実施することで、バリュー・フォー・マネー（VFM:金額に見合った価値）の最大化を図ることができるよう各国を支援しています。持続可能性を高め、継続的な進展を実現するために、グローバルファンドは、支援する国々の国内資金のより効果的かつ効率的な活用を促進するとともに、持続可能性計画や移行計画をサポートし、各国が段階的にエイズ、結核、マラリアとの闘いにおいてリーダーシップを発揮できるよう後押ししています。

パートナーシップの力を活用

グローバルファンドのパートナーシップは、ドナーによる資金から大規模な効果をもたらす実績あるモデルです。グローバルな専門知識と現地におけるリーダーシップ、民間セクターの機敏性とコミュニティの知見と熱意、そして政府の力と市民社会による影響力をそれぞれ組み合わせることで、グローバルファンドはその効率性、効果、適応力の面で比類のない組織です。グローバルファンドへの投資によって、三疾患との闘いを劇的に変え、世界的な目標に対する進捗の軌道をリセットする可能性を秘めた画期的なイノベーションの展開を加速させることができます。コミュニティ主導の解決策を実現し、公平性や人権、ジェンダーに関連する障壁に立ち向かい、命を救う医療製品が現場の最前線に届くよう、コミュニティと協働しています。



180億米ドルを調達することにより グローバルファンドのパートナーシップができること：¹

2300万

の命を救う

2027年から2029年の間に2300万の命を救い、2029年までに三疾患合わせた死亡率を2023年比で**64%**減少させます。三疾患全体の死者数を2023年の230万人から、2029年には92万人にまで減少させます。

4億件

の新規感染を回避

2027年から2029年の間に4億件の新たな感染を回避し、2029年までに三疾患合わせた罹患率を2023年比で**54%**減少させます。感染者数を2023年の2億7100万人から、2029年には1億1900万人にまで減少させます。

実現する投資利益率

1:19

エイズ、結核、マラリアとの闘いに投資された1米ドルは、19米ドル相当の健康増進と経済的利益をもたらします。180億米ドルの増資により、2027年から2029年までに**3230億米ドル**のリターンが創出されます。

● 保健システムとコミュニティ・システム、パンデミックへの備えを強化

約60億米ドルを投じて、コミュニティ・ヘルスワーカーなど保健分野の人材、検査機関と診断、疾病サーベイランス、サプライチェーン、医療用酸素ケアおよび呼吸器ケア、デジタルヘルスと保健情報システム、強靱なコミュニティ・システムを強化します。

● 公平性の格差の縮小、およびサービスカバレッジの拡大の加速

健康を増進させ、誰一人としてエイズ、結核、マラリア対策で取り残されることのないよう、人権とジェンダーに関連する障壁に立ち向かい、市民社会やコミュニティと密接に協力します。

● 平均余命の世界的な不平等を縮小

低所得国の人々の平均余命は、高所得国の人々と比べて非常に短いという世界的な不平等を、2023年から2029年までに7%低減します。

● より的が絞られ、改善された国内資金の促進

エイズ、結核、マラリア対策、保健システムとコミュニティ・システムへの投資においてより的が絞られた国内資金の動員を実現し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジと質の高い医療への公平なアクセスを推進します。

● 気候変動へのレジリエンス向上

これまでのエイズ、結核、マラリア対策による成果を持続させ、気候関連災害の影響を受けにくい、気候変動に強い保健システムを構築します。

● プライマリ・ヘルス・ケアにおいて420億米ドルのコスト削減

2024年から2029年までにエイズ、結核、マラリア対策への投資によりプライマリ・ヘルス・ケアにおいて420億米ドルのコスト削減を実現し、2002年からのコスト削減総額を1450億米ドルにまで増やします。これまでの実績と合わせて、三疾患に起因する入院日数を16億日、外来数を31億件減らします。

¹ グローバルファンド以外の国際援助資金の水準がこれまで同様に維持され、各国による国内資金の規模の拡大、また、更なる革新、協働、綿密な実行が実現することで、第8次増資における180億米ドルの調達に貢献します。

決して立ち止まらない

グローバルファンドのパートナーシップは、すべての人にとって、より健康的で公平な世界を創り出す上で、極めて重要な役割を果たしています。過去20年間にわたって、エイズ、結核、マラリアとの闘いにおいて目覚ましい進展を遂げてきましたが、今なお緊急性をもって対応しなければ、これまでに苦労して積み重ねてきた成果を失いかねません。今立ち止まることはできないのです。危機に瀕している不確実な時代において、グローバルファンドへの投資は、世界の健康安全保障を強化しつつ、多くの人の生活を向上させる最も効果的な方法のひとつです。グローバルファンドの第8次増資は、大胆なアクションを起こす機会であり、180億米ドルを投じて、命を救い、これからの世代に恐ろしい感染症のない世界を創る取り組みを加速させるためのものです。一緒に全力を尽くしましょう。